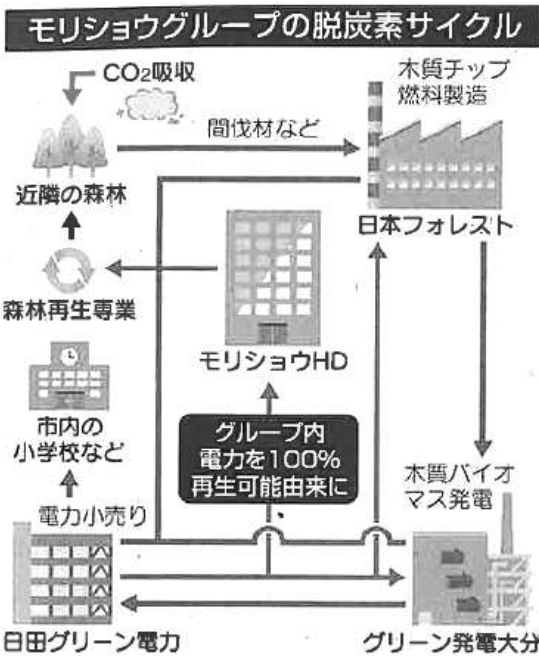


日田市の「モリショウグループ」

脱炭素で最優秀賞

間伐材から発電 ▼ 再造林 循環サイクル評価



優れた事例を共有し脱炭素化を推進するため一般社団法人地球温暖化防止全国ネットが主催。ことしは9日にオンラインで開催した。「学生」「企業・団体」など4部門への応募144件から選ばれたファイナリスト28団体が発表した。

自身の「低炭素杯」を含め県内の最高賞受賞は2件目。

同グループの発表は「木質バイオマス発電を核としたSDGsの取組み」。2013年に間伐材などを利した発電を開始。電気小売りや苗木生産、再造林ま

【日田】先進的な温暖化対策を顕彰する「脱炭素チャレンジカップ2021」で、日田市のモリショウグループが最優秀の環境大臣賞グランプリに輝いた。木質バイオマス発電を中心とした「酸化炭素(CO₂)排出削減と森林資源再生の持続可能な循環サイクル」が高く評価された。

前身の「低炭素杯」は2010年度にスタート。気候変動対策を強化するため昨年度、名称を改めた。18年度に姫島エコツアーリズム推進協議会(姫島村)が最高賞受賞。本年度は学生部門で玖珠美山高もファイナリストとして発表し入賞した。

山本康裕

社会に向け今後も新しいことに挑戦する。さらにアクセルを踏んでいきたい」と喜びを語った。



モリショウの森山和浩社長(41)は「やってきたことの方角性が正しいと認められた。脱炭素

で事業拡大し森林伐採から再生までの資源循環サイクルをつくった。

その結果、▽未利用材買い取りで林業経営に寄与▽年間約1万9千トンのCO₂削減▽市内公共施設に電力供給しエネルギーの地産地消などを実現させた。「審査では群を抜く高評価だった」(事務局)。